

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成16年11月4日(2004.11.4)

【公表番号】特表2000-501982(P2000-501982A)

【公表日】平成12年2月22日(2000.2.22)

【出願番号】特願平9-521474

【国際特許分類第7版】

B 0 5 B 7/02

A 6 1 B 17/12

A 6 1 M 35/00

B 0 5 D 1/02

【F I】

B 0 5 B 7/02

A 6 1 B 17/12

B 0 5 D 1/02 D

A 6 1 M 35/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月5日(2003.12.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成15年12月 5日

特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第521474号

2. 補正をする者

名称 ブリストル・マイヤーズ スクイブ カンパニー

3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル

青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751)石田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正する。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1通



方 式 査



請求の範囲

1. 二又はそれ以上の種類の液体成分の各々のための独立した供給源と、
独立した複数の開口を有したスプレーヘッドを備え、前記開口が前記スプレー
ヘッドを通る独立した複数の流路に対応しており、前記開口を通して前記二又は
それ以上の種類の液体成分を分配吐出することができる、必要とされる部位に前
記液体成分を分配吐出するためのアプリケータと、

前記液体成分を前記スプレーヘッドから放出するための放出手段と、

内部に独立した複数の流路を有した、前記スプレーヘッドへ各液体成分を移送
するための管であって、前記管及びその独立した複数の流路が第一の端部におい
て前記スプレーヘッド内の前記独立した複数の流路と接続され且つ流体連通してい
り、前記管が第二の端部において前記放出手段と接続され且つ流体連通してい
る管と、を備える二又はそれ以上の種類の液体成分を必要とされる部位へ塗布す
るためのシステムであって、

前記放出手段が前記液体成分の各々のための独立した供給源容器を備え、該供
給源容器がその第一の端部に摺動可能なピストンを有し、該ピストンの適正な移
動により前記容器の第二の端部から所望量の液体成分を移動させるようになって
おり、前記供給源容器が前記ピストンを所望方向に所望距離だけ移動させるため
のエレベータ手段をさらに有し、該エレベータ手段が、使用者からの作動信号に
応じて、前記ピストンを移動させる信号を前記エレベータ手段に送る制御装置に
応答するようになっており、前記独立した供給源の各々が前記管の前記独立した
複数の流路と接続され且つ流体連通し、前記放出手段が、前記供給源から前記管
の独立した複数の流路及び前記スプレーヘッドを通して前記スプレーヘッドの開
口の外へ前記二又はそれ以上の種類の液体成分を移送するための移送手段をさら
に備え、使用者が前記液体成分の前記供給源を手で持つことなく前記二又はそれ
以上の種類の液体成分を塗布することができるシステム。

2. 二又はそれ以上の種類の液体成分が内部を通して供給されるノズルと、

前記ノズルと流体連通している前記液体成分の供給源と、

前記液体成分の供給源から離れて設けられており、前記ノズルと協働して、前
記液体成分の塗布方向の制御を容易にするハンドルと、

前記供給源からノズルを通して該ノズルの外への前記液体成分の供給を容易にすることができ、制御装置と連絡している作動装置と、

を備え、前記作動装置が管を介して圧力読取装置と流体連通又は空気連通しており、前記作動装置が押圧又は作動されると、差圧が生じ、前記圧力読取装置が該差圧を感知して該差圧に応じて前記制御装置を作動させるようになっている、二又はそれ以上の種類の液体成分を塗布するための装置。

3. 二又はそれ以上の種類の液体成分の供給源と、

必要とされる部位に前記液体成分を分配吐出するためのアプリケーションタと、

前記供給源から前記アプリケーションタを通して前記アプリケーションタの外への前記液体成分の放出を制御する制御装置と、

を備え、前記液体成分の供給源は、使用者が前記供給源を手で持つことなく前記液体成分を塗布できるように、前記アプリケーションタと流体連通し且つ前記アプリケーションタから離れて設けられており、前記液体成分の供給源がピストンを備えたカートリッジからなり、該カートリッジからの前記液体成分の放出は前記制御装置に応じて前記ピストンを押圧するエレベータ手段によって行われる、二又はそれ以上の種類の液体成分を必要とされる部位へ塗布するためのシステム。